

# 「意識と知覚の階層」

私達は肉体ではなく肉体に結合した魂であり、一霊四魂と言われている霊的諸体から成る神の子です。

下記の解説図は肉体ではなくて肉体とダブっている霊的諸体の説明です。個々の人間は以下の霊的諸体の形成に従って徐々に自身の知覚と意識の段階を上昇させることが出来ます。この霊的諸体をエレブナではサイコノエティック体、神道では天の心・四魂と称しキリスト教では七つの燈台、印度哲学ヨーガではチャクラと言っていますが、いずれにせよ人間の意識が覚醒し進化する為にはこのセンターが機能し開花しない限りは不可能です。このセンターの開花には自己観察と自己想起が必須であり、昼夜を問わずワークを続行しなければなりません。自己観察とは神の演技である自我を自我と見ること、自我に覆われている自他の分離が無い真の私を真の私と見ることです。

